TADOKU JUNIOR　イソップ物語　★★★☆☆ ふつう　290語

The Tortoise and the Ducks

カメとカモ

Aesop（1919年の本）　**原文そのまま**　朗読：Bob Neufeld

人の声の朗読
を聞く・Web版

どんなおはなし？　世の中を見てみたいカメのために、2わのカモがぼうにつかまらせて空をとんでくれます。でも「だまっていて」と言われて……。



The Tortoise, you know, carries his house on his back. No matter how hard he tries, he cannot leave home. They say that Jupiter punished him so, because he was such a lazy stay-at-home that he would not go to Jupiter's wedding, even when especially invited.

After many years, Tortoise began to wish he had gone to that wedding. When he saw how gaily the birds flew about and how the Hare and the Chipmunk and all the other animals ran nimbly by, always eager to see everything there was to be seen, the Tortoise felt very sad and discontented. He wanted to see the world

too, and there he was with a house on his back and little short legs that could hardly drag him along.

One day he met a pair of Ducks and told them all his trouble.

"We can help you to see the world," said the Ducks. "Take hold of this stick with your teeth and we will carry you far up in the air where you can see the whole countryside. But keep quiet or you will be sorry."

The Tortoise was very glad indeed. He seized the stick firmly with his teeth, the two Ducks took hold of it one at each end, and away they sailed up toward the clouds.

Just then a Crow flew by. He was very much astonished at the strange sight and cried:

"This must surely be the King of Tortoises!"

"Why certainly——" began the Tortoise.

But as he opened his mouth to say these foolish words he lost his hold on the stick, and down he fell to the ground, where he was dashed to pieces on a rock.

> **Foolish curiosity and vanity often lead to misfortune.**

カメは、ほら、自分の家をせなかにしょっていますね。どんなにがんばっても、家からはなれることができません。なんでも、ジュピターの神さまがカメにこんなばつをあたえたのだそうです。カメはとてもなまけもので出かけるのがきらいだったので、とくべつにまねかれても、ジュピターのけっこんしきに行かなかったからです。

何年もたってから、カメはあのけっこんしきに行けばよかったと思うようになりました。鳥たちが楽しそうに空をとびまわり、ウサギやシマリスやほかの動物たちが、なんでも見てやろうと、すばしこく走っていくのを見ると、カメはとても悲しく、つまらない気もちになりました。カメも世の中を見てみたかったのです。それなのに、せなかには家があり、足は短くて、のろのろとしか歩けません。

ある日、カメは2わのカモに会って、なやみをすっかり話しました。

「世の中を見せてあげられるよ」とカモたちは言いました。「このぼうを口でしっかりくわえて。そうしたら、ぼくたちが空高くはこんでいってあげる。いなかじゅうが見わたせるよ。でも、だまっていないと、ひどい目にあうからね。」

カメはとても大よろこびしました。カメはぼうを口でしっかりくわえ、2わのカモがりょうはしを1わずつくわえて、雲のほうへとびたちました。

ちょうどそのとき、カラスがとんできました。カラスは、そのめずらしいようすにとてもおどろいて、さけびました。

「これはきっと、カメの王さまにちがいない！」

「もちろん、そうだとも――」とカメは言いかけました。

けれど、そのおろかなことばを言おうと口をあけたとたん、ぼうから口がはなれて、カメは地面へまっさかさま。岩にぶつかって、こなごなになってしまいました。

> **つまらないものずきや、いばりたい気もちは、よく悪いことをまねきます。**

たんご と クイズ カメとカモ

house 家	birds 鳥	Ducks カモ（アヒル）
stick ぼう	teeth 歯	clouds 雲
Crow カラス	rock 岩	

Q1 カモたちは、カメに何(なに)をくわえさせた？

① ひも　② ぼう　③ はっぱ

Q2 カモたちが言(い)ったやくそくは？

① だまっていること　② 目(め)をつぶること　③ うごかないこと

こたえ

Q1 ②　カモたちは、ぼうを口(くち)でしっかりくわえてねと言(い)いました。そのぼうをりょうはしからもってとんだのです。

Q2 ①　「だまっていないと、ひどい目(め)にあうよ」と言(い)いました。口(くち)をあけるとぼうがはなれてしまうからです。

原田英語の多読ベストジュニア

本物の英語の絵本 1,000話以上を、原文・人の声の朗読・和訳つきで。ゲーム・なぞなぞも。ぜんぶ無料・登録なし。

haradaeigo.com/tadokubestjr/

出典　英文：原文そのまま（1語も書きかえていません）。Project Gutenberg 電子書籍 #19994（Aesop、1919年）。パブリックドメイン。
挿絵：Milo Winter（同じ本の初版の挿絵。パブリックドメイン）
朗読（Web版）：Bob Neufeld（LibriVox のボランティア。パブリックドメイン）
和訳・クイズ：AIと人が作成。AIは３重チェック。人の目でも順次確認しています。